

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	議題2	一番のトピックスは新興感染症の発生、蔓延に対する医療だと思うが、従来の医療計画だと、例えば結核に関してはどこどこ病院が中心になるというリストがあり、感染症全般に関しても、県全体は日赤が第一種で、それ以外に各地域に指定医療機関があったと思うが、今後新たな新興感染症の発生、蔓延時における医療というものの概念として討議するにあたって、そういうどこどこ病院が中心になるといった考え方を示されるのか。 covidの場合は、岐阜県全体でやってきたが、新たな体制をとるときに、結核なり、国が定めている特殊な感染症に対するような考え方をとるのか、どういうふうを考えていくのか。	これまで対応してきたような、新型コロナのような新たな感染症がパンデミックになり広がった時の対応について、みなで考えていくということが主眼になっている。 今回の保健医療計画については、医療法に基づいて定めるが、感染症法が改定をされており、県の感染症予防計画についても併せて見直しをしていくということになっており、まさに新型インフルエンザや今回のコロナのようなパンデミックが起きて、特定の圏域に一つしかない、それも数床ずつしかないような感染症指定医療機関だけで診られなくなった時に、地域全体でどういうふうに診ていくかというのをあらかじめ準備をするということをご理解いただければと思う。
2	議題2	外来医療の推進のために、新しく制度が作られ、病院が指定される。できれば、患者さんに対する教育、教育って言い方は適当ではないかもしれないが、周知活動というものをしっかりやっていただきたいと思う。そういうものもこの中の項目としてしっかり入れておいていただきたいと思う。	
3	議題2	治療と仕事の両立支援、3、4年前から始まっているが、この医療計画の中にしっかりと入ってはいないので、できれば項目として入れていただきたい。厚労省がしっかりとやろうとして音頭をとっているので、大変重要なことで、これからは、がんでもどんどん仕事もできるような治療形式ができていく。 両立支援という項目をしっかりと入れて、それぞれの病院でそういう両立支援をしてあげられるようなシステムにしていくということも考えていただきたいと思っている。	
4	議題3	建物、土地、全て純正会に売買するのか。	建物は無償譲渡、土地は一部借地があり、借地解消後にそれなりの割合で負担をしていただきたいと考えている。(中津川市)
5	議題3	ドクターの確保、透析を行うドクター、回復期の診療を行うドクターについて、計画がちゃんと出てきているのか。	現在、高山先生、酒井先生などを中心として、引き続き勤務していただきたいと考えている。 その他については、純正会と調整している。(中津川市)
6	議題3	地域医療構想会議であって、中津川市が民間移譲する業者選定委員会ではない。決まってもない方にプレゼンしていただくことはいかがなものかと思っている。	国から示されているルールなので、ご理解いただきたい。
7	議題3	今回は、中津川市の坂下診療所の民間移譲についての話であって、診療所をどうするかという話で、診療所に84床をつけることはありえない。そのあたり説明していただきたい。	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
8	議題3	<p>今までこの会を通じてこういう体制（19床）になった。それを今の時点において、解消する。</p> <p>診療所ではなく病院を作るという、その変遷をした理由を聞かせてほしい。</p> <p>この場での議論の内容は、何だったのか。納得しないからひっくり返したのか。</p> <p>そういう条件でやりたいということなら、それはまた話が別になる。今までの会議の流れをしっかりと踏んだ上での説明を求める。</p>	<p>中津川市は、医師不足が一番原因だと思っている。</p> <p>その中で、縮小せざるをえない状況があったというところで、病床規模を縮小してきたというところだが、ニーズ等もあると考えるので、このような計画を立てたというところにある。（中津川市）</p>
9	議題3	<p>今回この資料を数日前にいただいて、正直、唐突感は否定できないというところ。</p> <p>いろいろな事情があって、旧坂下病院を縮小してきた中で、唐突にこの話がポツと出てきたというような理解しかできない。それで計画としてはかなり綿密。</p> <p>計画がここで始めて出てきたということで、それに関してのジャッジをこの場でと言われても、議論自体がなかなか深まってないのではないか、という気がするので意見として申し上げる。</p>	
10	議題3	<p>そもそもこの会が地域医療構想のための会議なので、病院をどうこうすることよりは、地域をどうするかという会だというのが大前提であろうかと思う。診療所から病院になったときに、これで中津川市は大丈夫なんだというプランになるんだよということをお示しいただきたいと思う。</p> <p>坂下の診療所が小さくなっていく、なくなってしまうのは地域の住民の方にとっては困る話かと思うが、今度逆に坂下病院が大きくなったら、近隣の病院にも影響が及ぶと思う。具体的には一番影響が及びそうなのは中津川市民病院だと。どういう影響がおよんで、そこは中津川市としてはどう考えていて、どういう計画になってるから、この坂下病院を大きくすることがOKという説明をいただきたい。</p> <p>資料3-3の一番最初のところで、確かに高齢者の人口は、今後増えるが、医療需要全体としては減ってくる。その中で片方の病院を大きくしたら、片方の病院はどうなるのか、という話がセットでないと、まずいのではないかと思う。坂下病院は生き残ったが今度は中津川市民病院は縮小と言った時に、今度はそちら側に近い住民の方々は、納得がいくのか、ということもセットでお話がないと難しいのかなと思う。</p>	<p>中津川市としては、当然、中津川市民病院が急性期の中心となる病院として位置付けている。引き続き中津川市民病院を急性期医療の中心として考えている。</p> <p>回復期につきましては先ほどもあったが、試算的には患者数が増えるってところがあるので、純増という形で回復期の病床をふやしたいと考えている。（中津川市）</p>

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
11	議題3	<p>政治的な話かもしれないが、民間に譲渡すると、中津川市民病院と、民間の病院の話になる。</p> <p>将来的には人口構成などが変わるので、いくら今シミュレーションができていたとしても、やってみると違う状況になるかもしれない。</p> <p>そのときに、民間と市民病院の間を取り持つのは、中津川市民病院がやるというふうなお約束になっているのかどうか。市民病院・市民病院のとき、または市民病院・公的病院の間の時には比較的行政が話をしやすいが、民間と市民病院となると、民間の方にはなかなか行政側言いにくいという問題がある。今までも地域医療構想の話は、民間の病院は置いて、まずは国、市とかの病院のところから手をつけましょう、みたいな話になっていた。</p> <p>この先そうなった時に、純生会と中津川市民病院の話、役割分担とかは、中津川市が主導で調整をするというお約束を純正会と交わしているのかどうか、その辺りのことをご説明願います。</p>	<p>現在調整中であるが、中津川市としても十分、調整役として機能していくような形をとっていきたいと考えている。（中津川市）</p>
12	議題3	<p>急性期病院はこの地域では、ベッドが多くありすぎるという話になっていて、回復期や慢性期が足りないことがわかってる。将来的には急性期のベッドが回復期慢性期に変わっていく可能性は極めて高いと思うが、中津川市民病院はそういうことは考えていないという、中津川市の考え方が。</p> <p>回復期、慢性期は坂下病院がやり、急性期は中津川市民病院がやるという体制になっていくという、中津川市の考え方ということでよいか。</p>	<p>中津川市民病院のベッド数を現在減らすような考えではない。回復期、慢性期については足りないという認識であり、その純増をお願いしている。（中津川市）</p>
13	議題3	<p>診療所の民間移譲についての話であって、中津川市の慢性期病床が足りないから増床という話ではないはず。論点がずれると思う。</p> <p>診療所の民間移譲は、診療所を民間に移譲することについてどうお考えかということをお聞かされてるんだと思う。</p> <p>もう5年前に、診療所の形態でやっていたのを、今の時点で、回復期病床なり、慢性期病床ふやすという議論になったということは、先ほど言われたが、唐突な話。それが議題に載ってない。中津川市において、回復期病床をふやす議題ではない。そのあたりを整理していただきたいなと思っている。</p>	
14	議題3	<p>歴史的な流れからいくと、坂下病院の病棟はどんどん縮小して、最後に閉鎖するような形になってきたところ。新しくまた病棟を作るということは、いかにも唐突というよりも、何を考えてやるのかと思う。</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
15	議題3	<p>公立病院のあり方検討会で、199床あった坂下病院が19床の診療所になった。平成30年のことだが、その時期から中津川市民病院の入院患者数はほとんど増えてないと聞いている。この5年で中津川市の人口は5000人減った。</p> <p>減った割には、中津川市民病院の入院のニーズは増えてないというふうに判断できる。これからも人口減少は予想される中で、入院ニーズは現状がピーク程度で増える理由はないように思っている。</p> <p>入院ベッド数は現状で足りてるといふふうにも思うところである。過大な医療体制は将来の大きな禍根を残すことになるのを我々は危惧している。</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
16	議題3	<p>我々の医師会に、坂下診療所の病院化の申請をするという話が伝わったのは、1ヶ月前。唐突な感じで、我々の方に情報がもたらされた。</p> <p>昨日の恵那医師会の理事会があったが、そこで初めてこのことについて議題に上がった。</p> <p>理事の先生方から集まった意見を少し述べさせていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッド数を減少させることは地域医療構想の中で基本方針なのに、なぜ今更ベッドをふやすのか、逆行しているのではないか。 ・無駄なベッドは必要ない。ふやす必要はない。 ・坂下病院になった場合その患者さんを分け合ってしまうと地域中核病院である中津川市民病院の運営が成り立たなくなってしまうたら、これこそ中津川市にとって大きな痛手。 ・入院ベッド数をふやすのであれば、中津川市民病院の中でふやしていただきたい。そうすることで医師確保にも繋がるのではないか。 ・社会的入院が多くなれば、国民健康保険の患者さんが多いために、国保の負担金が増えて市の財政にも影響するのではないか。これは避けるべきだ。 ・坂下診療所の療養病床19床、今ゼロ床運用。老健の稼働率が現在60%ということだが、80%に上げれば、20床を使えるようになるので、合わせて40床のベッド確保ができるのではないか。今の体制で十分経営上は可能ではないか。民営化は現状のままでやるべきだ。 ・老健の稼働率60%で、これが上がらない理由は、スタッフ不足と言っているが、新しい病床を作っても、スタッフ集まらないのではないか。先ほど純生会さんの方からは、我々のところからスタッフを引き抜かないと言われたが、人口が限られている中で、我々の施設、市民病院、市立恵那病院から、そういうスタッフを引き抜かれるのは非常に困る。 <p>参加理事14名のうち、賛成は0、反対が12名、保留が2名という結果だった。保留2名は公立病院の先生方。さらに今後については、恵那医師会長に一任するということを決めている。</p> <p>以上のことから、我々恵那医師会としては、坂下診療所の病院化は反対の意見であるということ述べさせていただく。民営化されるのはもちろん結構だが、現状のままでやるべきでないか。</p>	
17	議題3	<p>譲渡とあるが、何故最初から譲渡なのか、その前に指定管理とかいろんな方法がある。譲渡というのは多分最終手段。譲渡にも3種類あって、お金を譲渡先からもらって譲渡する場合と、差し引きゼロの譲渡と、それからお金を積んでもらってもらう場合と3種類ある。どの譲渡か分からないが、いずれにしろその前に、指定管理といったシステムを使ってやるとよかったと思うが、どういうふうの中津川市が考えられたのか。</p>	<p>指定管理だとこれからもずっと指定管理料という形で財政負担があるというところで、やはり市民病院中心とした急性期医療に特化した力を入れていきたいという考えがあり、純正会さんに自立した医療を提供していただきたいというところで譲渡をお願いした。（中津川市）</p>

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
18	議題3	譲渡の内容は。有償の譲渡、無償の譲渡、プラスアルファ、三つあるが。	建物については、無償というような考えでいる。 土地についてはまだ借地の解消ができておらず、そこは今後検討という形になる。(中津川市)
19	議題3	譲渡後、運営をするための補助金を出すなどの考えはあるのか。	1～2年になるが、補助金、支援金等の考えはある。(中津川市)
20	議題3	それは無償譲渡ではなく、プラスアルファをつけた譲渡となると思うが、そういうことをちゃんと示して、論議の場に出さないとちょっとまずいような気がするが。	具体的に決まっていることはないので、今後詰めていく話になるので、まずはこの調整会議にかけた。(中津川市)
21	議題3	この地域医療構想会議に関しては、やはり既存のまず病院が生きていくことが一番大切だと思っている。先ほど白鳥先生が言われたように、坂下病院ができることによって不均衡が生じて、今あるところが潰れるような地域医療構想会議では困っている。	
22	議題3	先ほど、この人口の流出っていうお話があったが、その流出を止めてこちらに戻すことにしての病床の確保というのをおかしいのではないか。今現在流出していてその中で考える。また東濃の方にも大きな病院がまたできますので、どちらに動くか。 もちろん中津川市民病院にたくさん行かれてそこから回復期に向かわれるということを考えてと思うが、今現在の流出してる患者さん方を、戻す、100床まだいるんだという考え方は、ちょっと賛成しかねる。	
23	議題3	看取りの場所ということに関し、中津川市民病院は、ドクターカーでの看取りを頑張られたりということで、看取りの場所をできるだけ自宅にという活動されてると聞いている。それにより病院に入院する方が減っている。 これは本当に望むところで今、国が目指している形ではないかと思う。そういう方が今までは入院していたために、入院病床が多すぎた。 それを減らすっていう形で始まった地域医療構想をまた元に戻すことではないかというふうに、私は理解してしまう。今19床でも0床でも何も問題がないという恵那医師会の意見等をお聞きすると、今ここにまたふやすということは、まず考えられない。	
24	議題3	まずは譲渡、19床のままでの譲渡をどうするかという事を協議いただいた上でないと、ちょっと承服しかねる話だなと思う。	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
25	議題3	<p>平成28年から地域医療構想の委員として参加させていただいている。その中で、やはりこの東濃地区というのは、西日本の病床が過多であるということが問題であって、東濃地区はあまりいじるべきでない、ということ随分と発言させていただいた。</p> <p>その中で、地域医療構想とは別に、中津川市の公立病院あり方委員会というのがあり、そこはどんどん坂下病院を縮小するという方向で進んできた。</p> <p>実はこの地域医療構想の面から見ると、中津川市は、坂下病院多分なくしてはいけないと思って、そちらの会議には参加していなかったが、陰ながら反対をしていた。結果的に平成30年には19床になってしまった。患者さんがどうなるのか、透析患者がどうなるのか、非常に危惧をしたが、実際問題、問題がなかった。いろいろと調べたところ、坂下病院に、その時90床ちょっとだったが、入院患者の医療度が非常に低いということがわかった。</p>	
26	議題3	<p>そういう中で、現在、中津川市で一番問題なってるのは、先ほど出ているが、基幹病院である中津川市民病院のパワーアップ、基幹病院としての力をもっとつける。脳血管疾患、循環器疾患、あと泌尿器疾患をちゃんと中津川市民で見れるようにする体制が一番大事。</p>	
27	議題3	<p>今、中津川市で必要なのは、過去5年前、10年前と比べ、高齢化であったり、老老介護、高齢独居であるということで、運動機能面以外で、認知機能等の面で、在宅復帰できない方がいる。そういう方々の受け皿、介護のベッドは非常に必要。</p> <p>医療のベッドというのは、推計であるように、あと2030年に向けて1%ぐらいしか需要がないということはわかっているし、それは身にしみて感じている。</p> <p>今後の医療のベッドを増床するというよりは、やはり介護の方のベッドをつくる方に注力をするべきであるというふう考える。</p>	
28	議題3	<p>もし84床の医療ベッドができるとすると、ほとんど国保の患者なので、そこから生まれる医療費がいかなるものかと考えると、病院経営されている方はわかると思うが、年間7億～9億となると思います。その財政負担がまた中津川市に来るとのこと、これ非常に今後、まずいと思うのではないかと考えている。</p>	<p>国保の負担が増える、市の財政が増えるという、認識の話がありましたが、これは一つの病院が出来て6億増えるなら6億市の負担が増える、そういう話ではなくて、交付金とか、保険料で賄われているので、そこがイコールではないところちょっと認識していただきたい。（中津川市）</p>
29	議題3	<p>坂下診療所の民営化、我々どもは賛成しているが、できればまず19床を有効に活用していただく。そこで圧迫骨折の方を見ていただければいい。入院透析の方を見ていただければ、それによって地域に貢献していただきたいと切に思う。</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
30	議題3		<p>中津川市としまして委員の先生方からいろいろご意見を賜りましたことはしっかり受けとめさせてもらうが、今まで集約に向けて取り組んできたことが、突然病床を確保して、病院に戻すということの流れについて、いかがなものかというのは十分承知している。このままで民間譲渡したらどうかというお話もあった。</p> <p>とにかく今の医療機能を維持したい。そういう中で医師の不足等々で、必要な医療が維持できないというところから民営化の話になり、さらにエビデンスということで、必要を患者数をしっかり調べさせてもらった中で、純正会の方からも我々の方からも報告した。</p> <p>一旦診療所にしたものを、また病院に戻すということ自体、いかがなものかっていう、お話は十分理解したが。</p> <p>この地域の医療を守っていきたいという市長の考えの中から、話をさせてもらったということで、貴重なご意見、ご意見を賜りましたことをしっかり伝えておく。（中津川市）</p>
31	議題3	端的に中津川市にお聞きしたいのは、ほかの先生方から提案がある、現状での民間譲渡は考えていない、ということでよいか。	考えていない。（中津川市）
32	議題3	理由は何か。	<p>やはり財政支援いろいろ含めた中で、やはりこの地域の医療を守っていきたいというところがある。</p> <p>純正会から提案いただいたことだととらえているので、このチャンスを逃さないように考えていた。（中津川市）</p>
33	議題3	この地域の医療は現状では守れないのか。そこが少し疑問に感じる。他の先生方が言われてる通り、地域医療構想と調整会議の今までの会議が一体何だったのか、忙しい中で時間を割いて集って将来について考えていた方向性ということが、全く生かされていないという、しかもこの結果は県から国に報告がいくものだと思うが、こういうものとしては、果たしていかがなものか。なかなか賛成ということしづらいものであるかなと考える。	
34	議題3	この示していただいたデータでも、中津川市の人口となっているが、坂下の人口でないとなかなか説明がつかないではないのか。 中津川市になったり、東濃になったり、上手。坂下という地区に限定したものではないように思うので、この辺も資料としては少し信頼性が欠けると考える。	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
35	議題3	純増と言われるが、先ほど白鳥先生が言われたように、医療ニーズはだんだん減ってくる中で、回復期はもちろん必要と言われているが、最終的に急性期は減少していくので、坂下に回復期を作る場合、中津川市民病院の急性期を減らすというふうな質問に対しては、先ほども答えになっていないので、中津川市民の急性期を生かしたままで坂下の回復期をふやすということに関しては、計算式が合わないと考える。	
36	議題3	他の先生方が言われたとおり、特に恵那医師会の先生方が言われたとおり、現状維持を民間の先生方にやっていただくということに関しては、非常にいいアイデアではないのかと考える。最後のまとめとしては、やはり地域の医師会の皆様の理解と協力がないと、地域の医療というのはやっていけないので、地域の医師会の先生方の反対を押し切ってまでやるというのは、なかなかこの地域の医療を保つということに関してなかなか賛成しにくい現状ではあるかと思う。 コロナ禍を我々は経験している。コロナ禍の中で、地域の先生方と、協力して仲良く、支え合っていないと、地域医療はやっていけない。この辺の理解がないと、なかなかいい話だということにはいかないと考える。	
37	議題3	議長をお願いとして、この件に関し、地域医療構想等調整会議、賛成なのか反対なのかということをはっきりと結論を出して、この会議の結論として、国に上げていただきたいと考える。	
38	議題3		恵那医師会様との関係につきましては、突然と、先生方言われましたが、ある程度、医師会長さん、副医師会長さんにも、個別にご相談していった、という経緯はあるというところで、ちょっとご認識いただければありがたいかなと思う。 全くその関係性が悪いというところでのお話はないというところにいる。(中津川市)
39	議題3		追加でご質問だが、この調整会議は何か採決する場ではないというふうに認識しており、協議をする場ということでいろんな意見をいただくという場というふうに、認識していた。 我々の中津川市の提案が非常に、賛成していただけないというようなことだが、先ほど事務局の方から提案あったまた後程仕切りなおしていた時に、我々としてもこれだけの意見を言われた中で何か歩み寄りという言い方をおかしいが、少し前進するような話に繋がってくってという可能性があるのかないのか。 いや、もう完全に会として反対というような形で終わるのかによって、先延ばししても、状況が変わらないっていうことであれば非常に残念だなというところもあるので、県の事務局の方の提案については、またご相談さしてもらいながらできるだけ建設的な話ができればいいなっていうのは正直思ってる。(中津川市)

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
40	アドバイザー	今日は中津川市民病院さんの方も、地域の住民のためにいろいろご検討いただいて、こういうふうがいいだろうと思ったご提案をいただいたんだと思っている。 ただ、意見はいろいろあったので、そういったことも踏まえて、地域の先生方と一緒に、一番良い最善の方法を検討できればと思うので、引き続きいろいろ協議をしていただいて、一番いい方法を探っていただきたいというのがお願いします。 それに伴って皆さんの理解が深まり、地域で協力体制が強固になっていくことが一番望まれると思うので、そういった観点からも継続的な協議をお願いできればと思っている。	
41	アドバイザー	今回のような事案というのは、他の医療圏でも出てくるような予感がしており、そういう時にどうしていくかということは、本当に皆さんで考え、皆さんで答えを出していくということが大事なのではないかと感じた。 その中でやはり地域医療構想調整会議の反対を押し切って、反対が多い中でそれを押し切っていくのか、地域の医師会の先生方のご意見がある程度一つの方向に行っているのにそれを押し切って進んでいくのか、ということに関しては、一つの前例というか、形になってくる可能性もあるので、非常にこれは慎重に進めていけるようにしたほうがよいと、県庁なのかどこにお願いしていいかわからないが、やはり慎重に皆様の同意の中で、地域の医療を守っていけるようにすることが一番大事だと感じた。	
42	アドバイザー	医療人材を育成するような立場にいる。その中でもやはり若手の医師が派遣しやすい環境、勤務しやすい環境をやはり作っていただくことがやはり必要だと思っている。 その中でやはり働ける場をいかに連携をよくして、行政の方々、医師会の方々そして大学含めた三者、あと地域住民を含めて、いい形のものをやっぱり作っていただくということが、大学から育てていく卒業生を送り出すということも含めて重要だと思っている。	
43	アドバイザー	過去にもう赤字で大変困った病院を、立て直していろいろおやりになってる成功事例というものを、他の病院に共有するというのも非常に大事なので、できればそういう共有できるような、何かご報告をいただく、そういうことをして、みんなで学んでいく。そういうことにしたいと思っている。	